



あやめ十八番

第十三回公演

「音楽劇 百夜車(仮)」

企画書





日本の伝統芸能を“**擬古典**”という独自のスタイルで描いてきたあやめ十八番が今回扱うのは“**能**”。

能演目『卒塔婆小町』 あやめ十八番~~流~~ 現代能楽劇

あやめ十八番はこれまで、歌舞伎・落語・人形浄瑠璃など、日本の古典芸能のエッセンスを作品に取り入れ、“擬古典”と称し、日本の文化・風習・宗教観などを主題とした作品を創作してきました。

今作では初めて、“**和のオペラ**”とも呼ばれる能をテーマとし、能演目『卒塔婆小町』の登場人物である**小野小町**と**深草少将**の関係を、**死刑囚**の女性と面会を希望する週刊誌の**記者**が、**獄中結婚**に至ろうとするストーリーに見立て、和製音楽劇を描きます。

2017年の劇作家協会プログラム「ゲイシャパラソル」では、ダブルキャストで、劇団史上最大となる2,250名を動員した弊団体ですが、今作では、シングルキャストで2,000名の動員に挑戦します。



あやめ十八番 2021年本公演

「肥後系 百夜車(仮)」

(期間) 2021年8月もしくは2021年10月

(利用日数) 上記期間の内、10日～14日程度を予定しています。

(動員目標) 2,000人

(作・演出) 堀越涼 (あやめ十八番/花組芝居)

(音楽監督) 吉田能 (あやめ十八番)

(出演者) 大森茉莉子、金子侑加、堀越涼 (以上、あやめ十八番)、
※以下オファー予定
浜端ヨウヘイ (オフィスオーガスタ)、中山省吾 (HINOKURUMA)
島田大翼 (オペラシアターこんにゃく座)、秋葉陽司 (花組芝居)、熊野善啓 (チャリT企画)、
大原研二 (DULL-COLORED POP)、岡本篤 (劇団チョコレートケーキ)、森川陽月
上記他メインキャスト10名程度、アンサンブルキャスト4～6名程度

(演奏者)

鍵盤楽器他：吉田能 (あやめ十八番)、パーカッション：吉田悠 (Open Real Unsemble)、管楽器：藤林祐聖
弦楽器：丸川敬之 (花組芝居)、アコーディオン他：島田大翼 (オペラシアターこんにゃく座)





磯貝京子は第一審・控訴審共に死刑判決を受けた未決拘禁者である。
6件の殺人、15件の詐欺罪で起訴された彼女は逮捕直後から多くの注目を集めたが、
本人は一貫して容疑を否認している。

安蒜（あびる）康介の所属する週刊『明朝』もまた、多くの週刊誌と同じく磯貝に注目していた。
他社を出し抜く為、なんとしても磯貝と接点を持つとする『明朝』だったが、
磯貝が出版社との面会の一切を拒否したため、デスクは安蒜に磯貝との文通を命じる。

記者嫌いの磯貝との文通は難しいと判断した安蒜は、
磯貝が大学時代、日本文学を専攻していた事に目をつけ、自作の和歌を送る。
磯貝もこれに呼応するように、和歌を送り返し、平安時代然とした、和歌による奇妙な交流が始まる。
当初、取材目的であったこの和歌のやり取りの中で、安蒜は磯貝の作る美しい歌に心惹かれていく。

長い時間を経て、ようやく磯貝との面会の機会を得る安蒜。
既に、畏敬の念を抱くほど磯貝に恋い焦がれていた安蒜は、彼女に獄中結婚を申し込む。
磯貝は、世阿弥の創作した“百日通いの伝説”に習い、自らを小野小町に、安蒜を深草少将に見立て、
百日続けて面会に通えば、結婚を受け入れると約束する。

来る日も、来る日も東京拘置所に通い続ける安蒜。
遂に百日を迎えたその日、磯貝の死刑が確定する。

本企画の特色



1. 若い演劇人が古典に関わることへの敷居を低くしたい。

能演目「卒塔婆小町」をモチーフにすることで、古典作品への関心を促すと共に、若者や古典の初心者が受け入れやすいように創作を加え、“擬古典”として上演することで、古典に縁遠い若年の芸術家や観客が古典作品に興味を持つ足掛かりになればと考えています。





2. 生演奏&全曲オリジナルの和製音楽劇

あやめ十八番の作品は、劇中音楽・効果音のすべてが生演奏であるということが特徴です。本作はさらに、能=和のオペラという考え方から、登場人物たちが手紙でやりとりする和歌の応酬を歌で表現するなど、あやめ十八番流の現代能楽劇で描きます。劇中音楽全曲オリジナルで、作曲は音楽監督の吉田能（あやめ十八番）。吉田は、G2氏・ウォーリー木下氏など、多数の演出家の作品で作曲・演奏を務める実力派。

【吉田能（あやめ十八番）】

あやめ十八番構成員。

入団以降全ての作品で、音楽監督・作曲・演奏を務める。

（2019年の主な外部活動）

大人計画「キレイ～神様と待ち合わせした女～」

@シアターコクーン 演出：松尾スズキ

（稽古場ピアノおよび本番での演奏）

モジリ兄とヘミング「オットセイ・オデッセイ」

@テアトルBONBON 演出：G2

（作曲および楽曲提供）

シーエイティープロデュース「スケリグ」

@DDD青山クロスシアター 演出：ウォーリー木下

（作曲および演奏）





3. 高校生以下無料。次世代の演劇人の育成。

高校生以下は無料で本作を観劇できます。更に、高校生以下の演劇人に対して稽古場を開放し、希望があれば創作過程を見学できる制度を導入します。これによって、次世代の演劇界の担い手たちが、創作の流れ・実務・お稽古の雰囲気を知る機会を作ります。



4. 障がい者割引・外国人割引

より多くの方に観劇の機会を持って頂くために、2017年からあやめ十八番では、障がい者の方や外国人の方に向けて、1,000円で観劇できる割引制度を設けており、本企画でも引き続き実施します。

主な出演者①



大森茉莉子(あやめ十八番)

印象的な瞳と、観客の心に響く通る声で、大輪の薔薇のような花のある女優。大学在学時に柿喰う客に出演し、多くの作品でヒロインを務める。卒業後、一度演劇から離れるが、あやめ十八番の旗揚げ作品で、本格的に舞台復帰。以降あやめ十八番のほぼ全作品に出演し、2014年5月、正式にあやめ十八番構成員となる。

2012年～2018年 あやめ十八番のほぼ全作品

2016年 MU「MU、短編演劇のあゆみとビジュアル展」@ 東京芸術劇場アトリエ

2014年 □字ック「荒川、神、キラージューン」@ サンモールスタジオ

2008年 柿喰う客「サバンナの掟」作・演出：中屋敷法仁 @シアタートラム

金子侑加(あやめ十八番)

あやめ十八番の演技マシーン。演劇に対するのりくらしとした関わり方とは裏腹に、多種多様な役柄を演じ分け、小劇場界の賞レースを席卷。CoRich舞台芸術まつり、佐藤佐吉賞、サンモールスタジオ選定賞等で、最優秀主演女優賞などを受賞。2015年5月、正式にあやめ十八番構成員となる。民謡歌手のような特殊な声質と豊かな声量に裏付けられた確かな歌唱力を持ち、あやめ十八番のミュージカル作品では主役を務めることが多い。

2014年～2018年 あやめ十八番のほぼ全作品

2016年 神奈川演劇連盟「ジレンマが嗤う」 @ 神奈川芸術劇場KAAT

2015年 RITROVO「星の王子さま」 演出：永井寛孝 @ 東池袋あうるすぽっと



主な出演者②



堀越涼(あやめ十八番/花組芝居)

2006年、花組芝居に俳優として入座し、以降座内では女形として、客演では男優として、卓越した演技力で幅広い役をこなす。2008年佐藤佐吉演劇祭(王子小劇場主催)にて、シルバーフォックス賞を受賞。2012年にあやめ十八番を旗揚げ。あやめ十八番代表。

2018年 砂岡事務所「変わり咲きジュリアン」演出 @ 東池袋あうるすぽっと

2018年 ムーンミュージック「インナーワールドエボリューションII」演出 @ 三越劇場他

2016年 ネルケプランニング「嫌われ松子の一生」出演 @ 品川プリンスホテル クラブeX

島田大翼(オペラシアターこんにゃく座)

オペラシアターこんにゃく座の若手で随一の実力派。同劇団で主役を多数務める。年間出演ステージ数は多い時で200ステージにも上る。オペラ俳優ならではの圧倒的な歌唱力と、同世代の俳優の追随を許さない程に高度な演技力を併せ持つ。

2017年 あやめ十八番「三英花 煙夕空」主演 @ 平櫛田中邸

2005年～現在 オペラシアターこんにゃく座「おぐりとてるて」主演、「アルレッキーノ」主演、「想稿・銀河鉄道之夜」主演、「ねずみの涙」「森は生きている」など



秋葉陽司(花組芝居)

所属の花組芝居では、立役・女形の両方を演じ、近年は主役を務めることも多い。恰幅の良い外見と大らかな雰囲気があり、優しい中年からヤクザの親分まで、幅広い役柄をこなす。体格の良さからくる声量の豊かさもあり、歌唱力にも定評がある。

2018年 あやめ十八番「ゲイシャパラソル」@ 座・高円寺

2017年 花組芝居「いろは四谷怪談」主演 @ 下北沢ザ・スズナリ





堀越涼(あやめ十八番/花組芝居)

2006年 4月	ネオかぶき集団・花組芝居に俳優として入座。以降、座内では女形として、柿喰う客を始めとする外部出演では俳優として、現在も活動中。
2012年 6月	近親者の死をきっかけに、「八坂七月 諏訪さん九月」で、自身のユニット・あやめ十八番を旗揚げ。以降、当団体のほぼすべての作品に作・演出・出演する。
2014年 3月	自身が作・演出・出演するあやめ十八番 第三回公演「江戸系 諏訪御寮」(小劇場 楽園にて上演)が、CoRich舞台芸術まつり! 2014で最終候補に選出される。
2014年 11月	自身が作・演出・出演するあやめ十八番初の映像作品「江戸系 紅千鳥」が、第三回クォータースターコンテストにて、審査員の鴻上尚史氏、行定勲氏らから高い評価を受け、優秀賞を受賞。
2015年 3月	SCARLET LABEL「うさぎとシーラカンス」(脚本:葛木英、出演:伊藤ヨタロウほか@下北沢駅前劇場)で、初めて外部作品の演出を務める。
2015年 8月	日本劇作家協会プログラム「あしたの別役」参加団体として選出され、あやめ十八番として初の既存戯曲(別役実作品)の演出を務める
2015年 11月	自身が作・演出・出演するあやめ十八番の映像作品「江戸系 猿踊」が、第四回クォータースターコンテストにて、審査員の野宮真貴氏、行定勲氏らから高い評価を受け、優秀賞を受賞。
2016年 6月	ENBUゼミナール「水曜日の小劇場ワークショップ」にて講師を務める。
2017年 1月	初めて作演出したミュージカル作品「雑種 花月夜」が、王子小劇場主催の佐藤佐吉賞で作品賞等の五部門を受賞し、自身も優秀演出賞を受賞。
2017年 1月	自身が作・演出・出演したあやめ十八番 第七回公演「ゲイシャパラソル」(2016年5~6月サンモールスタジオにて上演)で、2016年度サンモールスタジオ選定賞にて、最優秀演出賞を受賞。
2017年 8月	吉祥寺シアター主催の吉祥寺シアター演劇部にて講師を務め、全員が現役高校生である12人の出演者と共に、「ハルマチスマイル」(作・演出:堀越涼)を上演。
2018年 8月	砂岡事務所プロデュース「変わり咲きジュリアン」@あうるすぽっとで、作・演出を務める。
2019年 9月	桐朋学園芸術短期大学で、特別講師として講義を行う。



あやめ十八番とは

2012年に花組芝居の俳優・堀越涼が旗揚げした演劇ユニット。

歌舞伎、能、浄瑠璃など、様々な日本の古典芸能を基礎とし、古典のエッセンスを盗み現代劇の中に昇華することと、現代人の感覚で古典演劇を再構築することの、両面から創作活動を行っている。



全ての作品で、日本人特有の感覚や美意識を作品作りのテーマとしている。また、歌舞伎の下座音楽や落語の囃子に影響を受け、劇中音楽が全て生演奏であることも特徴の一つ。

構成員は、堀越涼(代表・作・演出・俳優)、大森茉利子(副代表・俳優)、金子侑加(俳優・制作)、吉田能(音楽監督)の4名。



(あやめ十八番の目的)

1. 『他人の為に生きる尊さ』を団体の命題に掲げ、本当の幸せを演劇によって模索していくこと。
2. 古典芸能の作品に匹敵するような、多くの再演にも耐え得る強度を持った普遍的な作品を作り続け、最終的には十八本の十八番(おはこ)演目を持ち、レパートリーとして繰り返し上演していくこと。
3. 現代劇や日本以外を舞台にした作品に、日本の古典芸能のエッセンス(七五調の流麗な台詞回しや、下げの間、下座音楽や落語の囃子に代表される生演奏等)を取り入れた“擬古典”を創作すること。
4. 日本人特有の感覚や美意識を作品作りのテーマとし、所謂伝統的な和の舞台ではなく、“和モダンな舞台”を構築すること。
5. 歌舞伎の女形に代表される、ジェンダーを超えた配役で、“演じる”ことによる俳優や役の魅力を平常以上に引き出すこと。



(直近の上演歴)

2016年 8月 劇団初のミュージカル公演。
番外公演「雑種 花月夜」@ 王子小劇場

2016年12月 出演者全員女形。動員約1,300人
第七回公演「霓裳羽衣」@ 東京芸術劇場シアターウエスト

2017年4月 日本劇作家協会プログラム
第八回公演「ダズリングニデビュタント」@ 座・高円寺1

2017年9～10月 初のツアー公演
第九回公演「三英花 煙夕空」
@ 平櫛田中邸(東京)、シアトリカル應典院(大阪)

2018年6月 日本劇作家協会プログラム 動員2,250人
第十回公演「ゲイシャパラソル(再演)」@ 座・高円寺1

2019年7月 吉祥寺シアター提携公演 動員約1,700人
第十一回公演「しだれ咲き サマーstorm」@ 吉祥寺シアター

「ゲイシャパラソル」より



「しだれ咲き サマーstorm」より





「淡仙女」より

(過去の上演歴)

2012年 6月 旗揚げ公演「八坂七月諏訪さん九月」@ 池袋シアターグリーン Box in Box

2012年 7月 第一回公演「Love potion #9」@ Performing Gallery & Cafe 絵空箱

2013年 4月 第二回公演「淡仙女」@ 花組芝居アトリエ セーヌ・フルリ

2013年 6月 堀越涼一人芝居「伊勢系 水巴」@ 恵比寿駅前バー

2013年 9月 企画公演「長井古種 かすり乙女」@ シアター風姿花伝

2014年 3月 第三回公演「江戸系 諏訪御寮」@ 下北沢小劇場 楽園

2014年 7月 第四回公演 「肥後系 新水色獅子」@ 下北沢 小劇場B1

2015年 1月 大森茉利子一人芝居「肥後系 雪燈籠」@ APOCシアター

2015年 4月 第五回公演「長井古種 日月」@ 日暮里d-倉庫

2015年 4月 番外公演 「伊勢系 薄化粧」@ 月見ル君想フ

2015年 7月 番外公演「雑種 晴姿」@ シアターグリーンBASE THEATER

2015年 8月 日本劇作家協会主催 「向こう横町のお稲荷さん」@ 座・高円寺2

2016年 5月～6月 第六回公演 「(再)江戸系諏訪御寮/(新)ゲイシャパラソル」
@ 新宿サンモールスタジオ



「江戸系 諏訪御寮」より



(受賞歴)

- 2013年 堀越涼一人芝居「伊勢系 水巴」が、エムキチビート『Fight Alone 3rd』にて観客投票第2位を獲得。
- 2014年 第三回公演「江戸系 諏訪御寮」が、CoRich春の芸術祭！2014にて最終選考に残り、同作品に出演していた現構成員の金子侑加が、俳優賞を受賞。
- 2014年 映像作品「江戸系 紅千鳥」が、第3回クォータースターコンテストにて、鴻上尚史氏・行定勲氏らから評価を受け、審査員投票1位となり、優秀賞(第2位)および観劇三昧賞を受賞。
- 2015年 映像作品「江戸系 猿踊」が、第4回クォータースターコンテストにて、野宮真貴氏、行定勲氏らから評価を受け、優秀賞(第2位)およびイーオシバイ賞を受賞。
- 2017年 劇団初のミュージカル公演「雑種 花月夜」が、王子小劇場主催の佐藤佐吉賞にて、最優秀作品賞、優秀演出賞(堀越涼)、優秀主演女優賞(金子侑加)、最優秀助演女優賞(井上啓子)、優秀音響賞(田中亮大)の全5部門受賞。
- 2017年 第七回公演「諏訪御寮／ゲイシャパラソル」が、2016年度サンモールスタジオ選定賞にて、最優秀演出賞(堀越涼)、最優秀女優賞(金子侑加)を受賞。



最後までお読み下さり、誠にありがとうございます。
ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。

あやめ十八番
代表・堀越涼

制作:大森茉利子・金子侑加
(劇団) ayame.18.kakitubata@gmail.com
(大森個人) ayame18.ohmori@gmail.com
080-3170-3879
(金子個人) kanecoyuuka@gmail.com
090-7508-8629

